

保護者 様

松戸市立横須賀小学校  
校長 川崎 和夫

### 学校教育活動アンケート集計結果のお知らせ

啓蟄の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、過日実施しました教育活動アンケート（保護者・児童・教職員）がまとまりましたのでお知らせいたします。

自由記述欄には温かい言葉をいただき、今後の励みとして大変感謝しております。また、一方で具体的なお意見・ご要望等もいただいておりますので、真摯に受け止め、今後の学校運営に生かしていきたいと思っております。

#### 1. 実施対象及び回収率

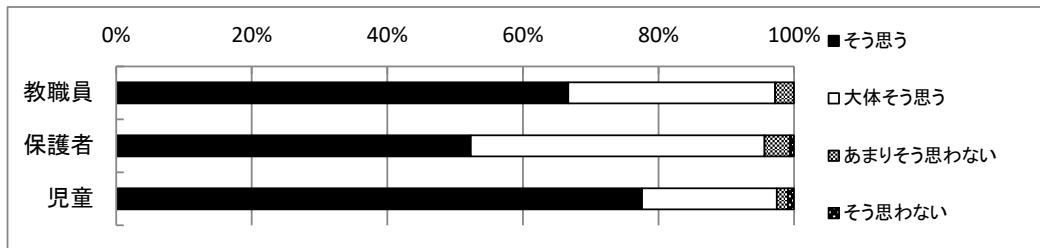
	在籍数	集計数	回収率
教職員	36	36	100%
保護者	538	344	64%
児童	678	673	99%
全校	1252	1053	84%

#### 2. 集計内容

※ 表内の数字は集計数を百分率(四捨五入)で表示しています。

##### (1) 友達と仲良く学校生活をすごしている。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	24	11	1	0	36
保護者	180	149	13	2	344
児童	522	134	11	6	673

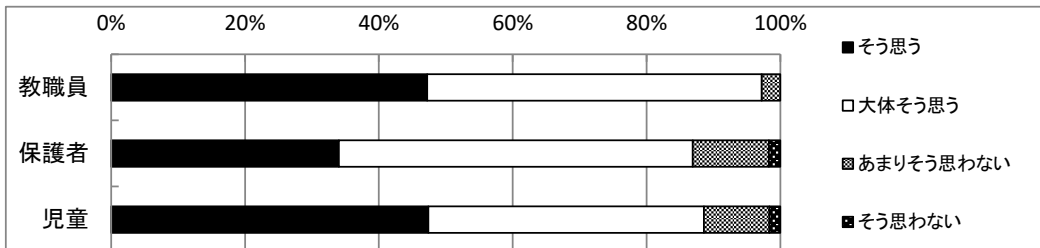


##### 〈考察〉

児童の98%が肯定的回答をしています。クラスに数名いる否定的な回答に対しては、いじめアンケートや個別面談で対応し、一つずつ丁寧に解決していきたいと考えます。ご家庭で児童の様子について気になることがありましたら、早めに相談いただくと、早期の解決につながります。学校・家庭が連携し、児童の成長を促したいと考えます。ご協力をお願いいたします。

##### (2) 学校の生活に目標を持って、進んで参加している。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	17	18	1	0	36
保護者	117	182	39	6	344
児童	319	277	66	11	673

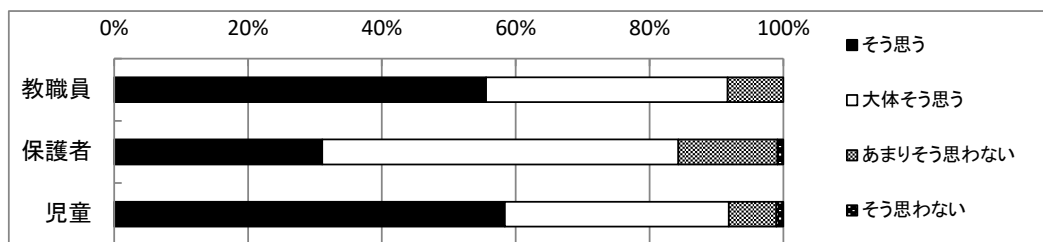


##### 〈考察〉

教職員・保護者・児童とも約80%以上が、肯定的回答です。しかし、教職員と児童・保護者の意識に若干のずれがあるようです。児童に“〇〇ができるようになりたい。”“〇〇のようになりたい。”という具体的な目標を持たせるとともに、達成感を持たせていくことについても今後さらに取り組んでいきたいと考えます。

(3) 挨拶の習慣が身に付いている。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	20	13	3	0	36
保護者	107	183	51	3	344
児童	393	225	48	7	673

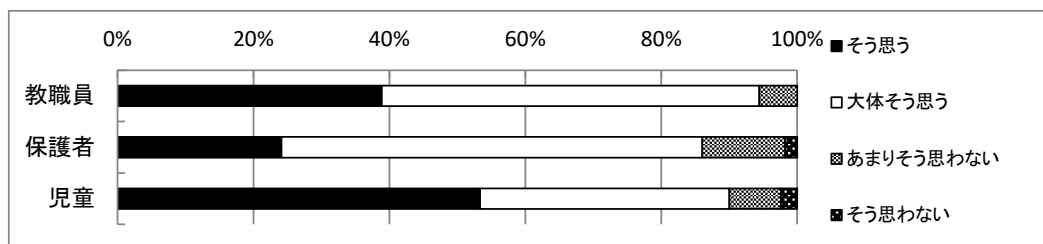


〈考 察〉

教職員・児童とも90%程度が肯定的でしたが、保護者は一番低い数値でした。今年度は保護者が来校する機会もとれず、児童が挨拶をしている姿が多くみられなかったことも要因かと考えます。これからも、自分から明るい挨拶ができる横小の児童を目指して指導していきます。学校外でも挨拶ができるように保護者の皆様にもご協力いただければと思います。

(4) 授業が楽しく、わかりやすいと思う。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	14	20	2	0	36
保護者	83	213	42	6	344
児童	359	247	51	16	673

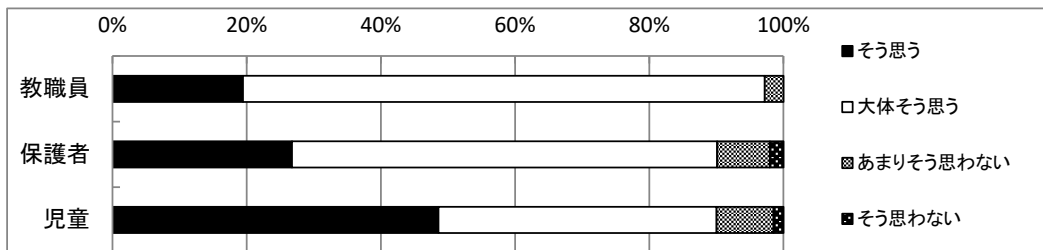


〈考 察〉

児童は90%強が、授業は楽しくわかりやすいと判断していますが、保護者の認識とやや差がでました。今後も改善に取り組み、わかりやすい授業を心がけていくよう努めてまいります。例としては授業の中でICT機器を活用し、それにより視覚的に理解できるような指導方法を工夫していきたいと考えます。

(5) 学習したことは、身に付いている。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	7	28	1	0	36
保護者	92	218	27	7	344
児童	327	279	57	10	673

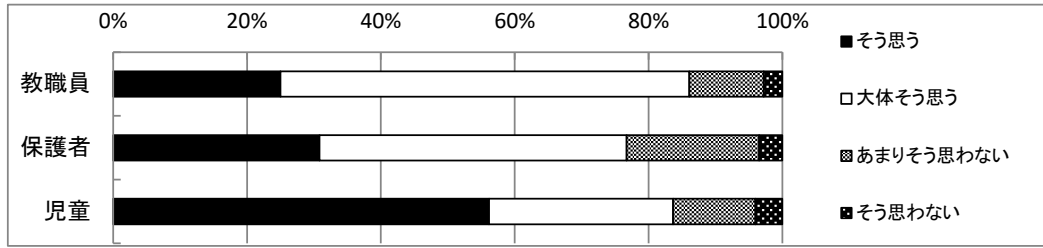


〈考 察〉

90%以上が肯定的回答をしています。しかし、保護者・児童の10%前後が十分でないとも判断しています。基本的な学力の定着、思考力・表現力の向上に向けて、教員の資質向上をはかるとともに、保護者との連携による家庭学習の充実を更に図っていききたいと思えます。

(6) 家庭学習の習慣が、身に付いている。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	9	22	4	1	36
保護者	106	158	68	12	344
児童	378	185	83	27	673

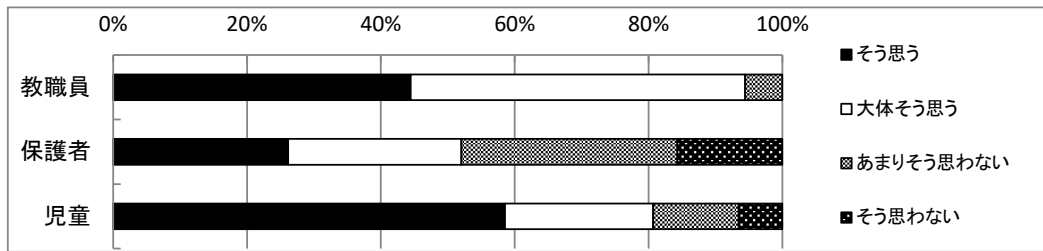


〈考察〉

児童・教職員は80%以上が良好と答えていますが、保護者は80%に届かず、意識の差が見られます。興味関心のあることを児童自ら取り組めるように、教師からの投げかけや家庭での助言を行い、児童が進んで学習に取り組めるように工夫したいと思います。児童にとって過度な負担にならずに、家庭学習の質が高められるよう、学校と家庭との連携を深めていきたいと思ます。ご協力をよろしくお願いいたします。

(7) 読書をよくする。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	16	18	2		36
保護者	90	89	111	54	344
児童	394	149	86	44	673

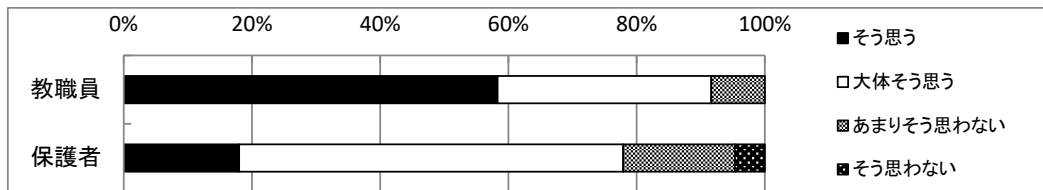


〈考察〉

図書室の活用で、児童は80%が肯定的な結果となりました。しかし、保護者の意見の半数は否定的な意見でした。ご家庭で読書する様子を保護者の方がご覧になることが少ないことが原因と考えます。休校期間があったこともあり、せっかく身に付いていた習慣が途切れてしまったことも要因ととらえています。ご家庭でも、本に親しむ習慣が身に付くようご配慮ください。

(8) 学校行事は、保護者が参観しやすいように工夫されている。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	21	12	3	0	36
保護者	62	206	60	16	344

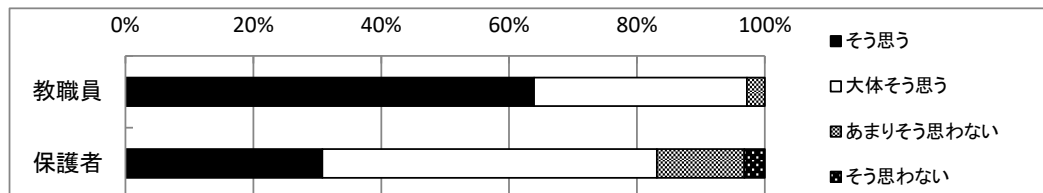


〈考察〉

今年度は感染拡大防止の観点から、参観の機会を十分にもてなかつたことを深くお詫び申し上げます。ただ、そのような中で約80%の方が工夫をしているととらえていただいております。大変うれしく思います。限定された条件の中で、参観ができる方法を模索してまいります。

(9) 教育活動の内容は、学年便りや学校便り、ホームページ等によって知ることができる。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	23	12	1	0	36
保護者	106	180	47	11	344

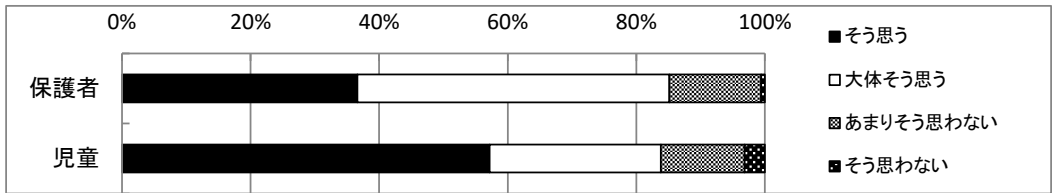


〈考察〉

教職員と保護者の肯定的意見の差が開いています。学校としては各種お便りにて発信しているつもりであっても、ホームページの更新頻度等、得たいときに情報を得られなかったことが要因かと考えています。これからも情報の発信方法を模索したいと思います。また、各町会・自治会に協力いただき、学校便りを回覧・掲示していただいておりますので、そちらもご確認いただくと幸いです。

(10) 学校での健康教育への取り組み(早寝早起き朝ごはんと外遊び)を家庭でも実践している

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
保護者	126	167	49	2	344
児童	385	179	88	21	673

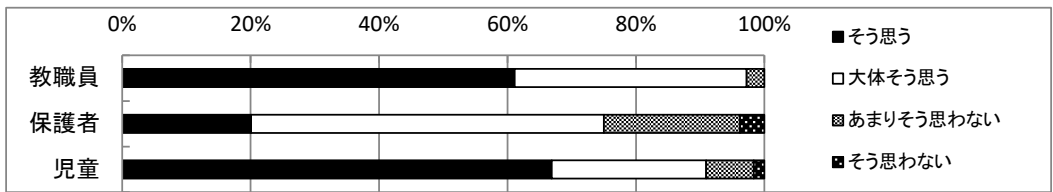


〈考察〉

保護者・児童ともに80%強の肯定的意見となっています。昨今の状況により、外遊びができていない環境であったり、休校期間や家庭での自粛生活によるストレスを抱えたりと、生活習慣が乱れることもあったかと推察します。学校でも声かけをしていきます。

(11) 学習や生活について相談できる

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	22	13	1	0	36
保護者	69	189	73	13	344
児童	450	162	50	11	673

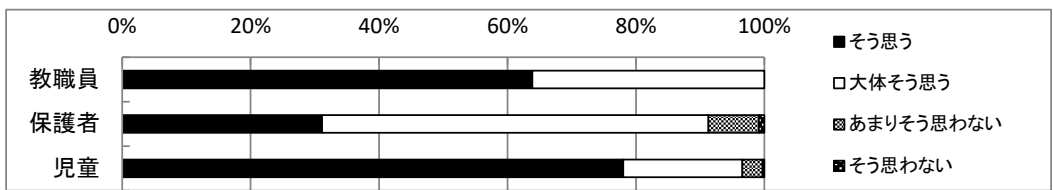


〈考察〉

20%以上の保護者の方が、相談しづらいと回答されています。学校としては誠実に取り組んでいるつもりですが、なお一層力を注いでいきたいと考えます。なかなかお会いして話す機会が持てなかった今年度ですが、連絡帳などを通じて普段から保護者の方との連絡を密にしていきたいと思ひます。また、学校全体に関わることについては教頭が窓口となっています。お気軽にご相談ください。

(12) 安全や防災対策について取り組んでいる

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	23	13	0	0	36
保護者	107	207	27	3	344
児童	525	125	21	2	673

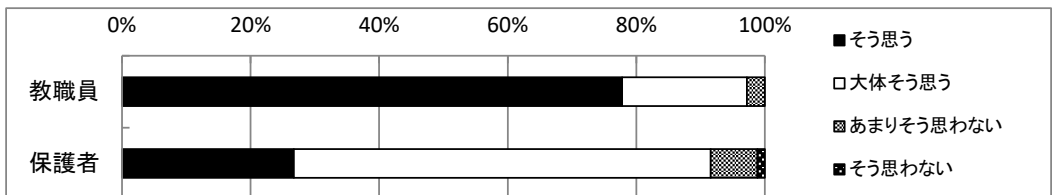


〈考察〉

肯定的な回答が大半を占めています。児童の安全は最優先されるべき事項です。学校としては、安全・防災について最大限努力をしているつもりです。環境面では人的・物的リソースが足りない場合や、対策にかけられる予算がない場合もありますが、避難訓練や危険予知トレーニングなど、児童の意識を高める取り組みもしています。今後も、気を抜かずに取り組んでいきたいと考えます。

(13) 学校は、子どもたちにとって生活しやすい環境が整っている

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	28	7	1	0	36
保護者	92	223	25	4	344

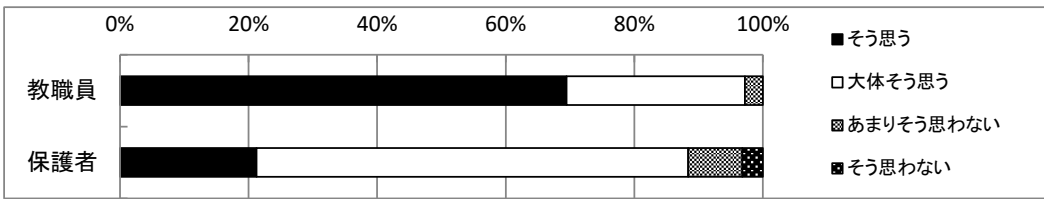


〈考察〉

教職員・保護者とも肯定的な意見が大半を占めています。「生活しやすい」と考える要因は多くありますが、今年度は感染症対策を重点的に行い、全手洗場にハンドソープを設置、各階に消毒液を常備し、下校後の消毒も毎日欠かさず行いました。また、水道のレバーハンドル化も行い、そういった工夫改善も生活しやすい環境の一部ととらえています。

(14) 学校は、いじめのない楽しい学校(学級)づくりに努めている

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	25	10	1	0	36
保護者	73	231	29	11	344

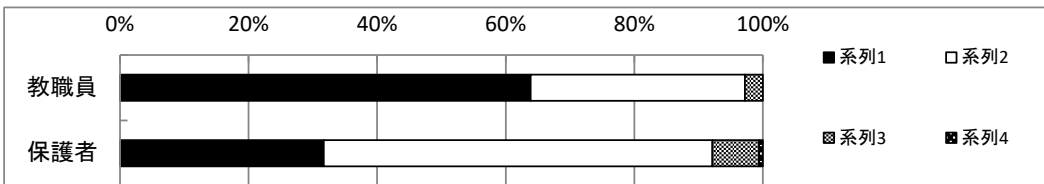


〈考 察〉

教職員と保護者で10%程度の開きがありました。教職員は努力をしていますが、なかなか伝わらないことも多くあったのかと思います。学校は、いじめについては、絶対に許さないという強い態度で臨んでいます。ご家庭でお気づきの点がありましたら、その都度教えていただけるとありがたいです。

(15) 学校は、子どもたちをよりよく育てるため、地域と協力している

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	23	12	1	0	36
保護者	109	208	25	2	344

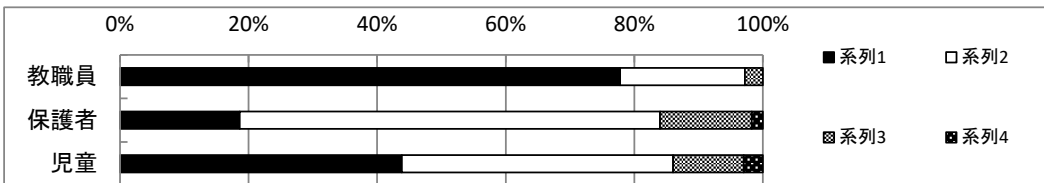


〈考 察〉

教職員・保護者ともに肯定的な意見が90%以上となりましたが、今年度は様々な活動に制限があり、地域との協力がなかなかできない状況でした。そのような中、スクールガードさんと協力し、児童の安全確保に努めてまいりました。感染状況が落ち着いた際には、授業の中でゲストティーチャーを招くなど、地域人材を活用できればと考えております。

(16) 学校は、自分の考えをしっかりと持ち、わかりやすく伝えられる子どもに育てようと努めている

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	28	7	1	0	36
保護者	64	225	49	6	344
児童	295	284	74	20	673



〈考 察〉

学校では、研究教科を国語にして、自分の思いや考えを表現する子の育成を目指しています。現在、感染拡大防止の観点から、授業のスタイルに制限はありますが、ペアトークやグループトーク・全体指導の中で、聞く練習・話す練習を成長過程にあわせて指導しているところです。コミュニケーション能力向上のために様々な工夫を行っていきたいと考えています。様々な場面で、児童の成長を見守っていただければと思います。

\* 学校教育活動において、重要視しなければならない項目(3つまで複数回答可)

	選択肢	回答数	%
A	友達と仲良く学校生活を送っている。	258	75%
B	学校の活動に目標を持ち、進んで参加している。	67	19.5%
C	挨拶の習慣が身に付いている。	51	14.8%
D	授業が楽しくわかりやすい。	121	35.2%
E	学習したことが身に付いている。	129	37.5%
F	家庭学習の習慣が身に付いている。	11	3.2%
G	読書をよくする。	8	2.3%
H	学校行事等は、保護者が参観しやすいように工夫されている。	4	1.2%
I	教育活動の内容は、学年便りや学校便り、ホームページ等によって知ることができる。	14	4.1%
J	健康教育の取り組み（早寝 早起き 朝ごはんと外あそび）	15	4.4%
K	お子さんの学習や生活について、相談できる。	27	7.8%
L	安全や防災対策についての積極的な取り組み	35	10.2%
M	子どもたちにとって生活しやすい環境整備	80	23.3%
N	いじめのない楽しい学校（学級）	127	36.9%
O	子どもたちをよりよく育てるための地域の協力	2	0.6%
P	自分の考えをしっかりと持ち、わかりやすく伝えられる子の育成	83	24.1%

〈考 察〉

学校教育活動で重要視するものは、A「友達と仲良く学校生活を送っている。」が多数を占めています。その次はほぼ同数で、D「授業が楽しくわかりやすい」、E「学習したことが身に付いている」、N「いじめのない楽しい学校（学級）づくり」が上位を占めました。日々の教育活動を行う上で、教職員も常に心がけていることです。学校・家庭・地域が協力して、子どもたちが笑顔で登校して、笑顔で下校する横須賀小学校をめざしていきます。